



## トンボの顔は、みな同じなの

### トンボの顔のつくりは、みな同じ

トンボは、いろいろな仲間（科）と種類（種）があります。種類によって、体の大きさやどう体の太さも、ちがってきます。でも、顔は、どれも同じように見えますね。

トンボの顔は、大きな二つの複眼（たくさんの目が集まって、一つの目を作っている）と、その間に3個の小さな単眼があり、複眼の間から、短い触角が出ていて、顔の下の部分は、がっしりした上くちびると、下くちびるです。

### トンボの特徴は複眼

トンボの単眼は、明るさ暗さを感じるものと考えられています。複眼は、トンボの種類によって、1万～2万8000個もの小さい目が集まって、1つの複眼を作っていて、この1個の小さい目が、それぞれ物の一部を見えています。それぞれの目がみている物が、脳で全体の形にまとめられるといわれています。トンボは、この大きな、一度に広い範囲を見ることができ、複眼で獲物を見つけ、すごい速さで飛びながら獲物の虫をとらえます。そして、がっしりしたあごで食べるのです。

トンボの顔をよく見ると、仲間（科）によって、この二つの複眼の大きさや並び方、ひたいの部分の広さなどに、ちがいがあります。（監修・中山 周平）

